

いばらき 県シ連だより

IBARAKI Prefecture Silver Human Resources Center Federation

令和7年
1月
発行



権現山公園(潮来市)「茨城百景」にも選ばれた桜(約250本)とつつじの名所です。

撮影者：(公社)潮来市シルバー人材センター
柳町 茂実さん

目次

特集

シルバー人材センター のデジタル化の取り 組みについて

連合会会長挨拶	2
茨城県知事挨拶・茨城労働局長挨拶	3
特集「シルバー人材センターのデジタル化の取り組みについて」	4
センター訪問(東海村/石岡地方広域)	8
就業活動レポート(取手市/坂東市)	10
シルバー会員の声(ひたちなか市/筑西市)	12
わくわくシルバーフェスティバル	13
安全就業推進について	14
綿抜会長退任のあいさつ/新規シルバー会員向けセミナー	15
第15回チャリティゴルフ大会開催協賛金	16



年頭のあいさつ

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

会長 加倉井 健一



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中、当連合会の業務運営に対し、多岐に亘るご理解とご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年6月18日の定時総会・臨時理事会で綿抜会長の後任として、会長に選任されました。身に余る光栄でありますとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯でございますが、誠心誠意頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、昨年は元日に石川県能登地方で震度7の地震が発生し、甚大な被害が生じたほか、記録的な猛暑や台風による豪雨災害など自然の猛威を改めて感じた次第です。

また、社会経済状況を見ますと、全般においてコロナ禍前の日常が戻ってきており、内閣府の月例経済報告（令和6年10月時点）では、景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復し、雇用情勢についても改善の動きが見られ、先行きについては海外の景気動向や、物価上昇、中東地域の情勢など注意を要するとの判断となっております。

このような中、我が国は65歳以上の方が3,625万人総人口の29.3%（令和6年9月）を占め、総人口が減少する中で高齢者人口は過去最多となっており、高齢者が健康で生きがいのある生活を実現する場として、シルバー人材センターの役割は一層大きなものとなっております。

しかしながら、私どもシルバー人材センターを取り巻く環境は、会員数の減少や会員の高齢化が続くなど厳しいものがございます。特に、会員拡大への取組は喫緊の課題であり、中でも女性会員の拡大と活躍の推進は大変重要なことと考えております。このため、女性活躍推進委員会を設置し、拠点シルバー人材センターと連携を図りながら、女性会員拡大に向けた取組を引続き進めてまいります。

また、昨年11月から施行された「フリーランス法」への対応や、同法を踏まえての「契約方法の見直し」、シルバー事業へのデジタル技術の導入など多くの課題についても、着実に取り組んでいく必要があると考えております。

今後とも、「安全就業の徹底」を最優先に、地域社会の福祉と活性化に貢献する、魅力あるシルバー人材センターとして充実発展するよう努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各シルバー人材センターの益々の発展と、会員、役職員の皆様方におかれましては健康に十分留意され、安全で明るい年になりますよう心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会 役員名簿

任期：令和6年6月18日から令和8年度定時総会終了時まで

謹賀新年

会 長	加倉井 健一	(公社)水戸市シルバー人材センター
副 会 長	塚本 将男	(公社)龍ヶ崎市シルバー人材センター
副 会 長	大山百合子	(公社)東海村シルバー人材センター
常務理事	長山 優	(公社)茨城県シルバー人材センター連合会
理 事	前田 浩	(公社)土浦市シルバー人材センター
理 事	松本 康雄	(公社)阿見町シルバー人材センター
理 事	長 行雄	(公社)常総市シルバー人材センター
理 事	三浦 利春	(公社)北茨城市シルバー人材センター
理 事	岩田 孝司	(公社)笠間市シルバー人材センター
理 事	高橋 明	(公社)潮来市シルバー人材センター
理 事	山口 晋一	(公社)石岡地方広域シルバー人材センター
理 事	鈴木 誠	(公社)古河市シルバー人材センター
理 事	中村 洋子	(公社)取手市シルバー人材センター
監 事	井上 雅裕	公認会計士・税理士
監 事	根笹 博	(公社)ひたちなか市シルバー人材センター
顧 問	綿抜 剛	(公社)茨城県シルバー人材センター連合会

新年のごあいさつ



茨城県知事

大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの皆様方におかれましては、日頃から高齢者の就業機会の確保・提供にご尽力されておりますことに、心より敬意を表します。

さて、我が国では急激な人口減少に加え、本年、「団塊の世代」全ての方々が75歳以上となるなど、超高齢社会が進展する中、地域社会の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者の皆様に、これまでの知識や経験を活かしながら存分にご活躍いただくことが大変重要であります。

このため、高齢者の就業機会を確保し、生涯現役での社会参加を促進するシルバー人材センターへの期待も益々大きくなっております。

県といたしましては、貴連合会をはじめとする関係機関と連携し、シルバー人材センターの活動を周知・広報するなど、高齢者の多様な就業機会の確保に努めますとともに、人生100年時代を見据えた健康づくりの推進などを通じ、高齢者の皆様一人ひとりがいきいきと活躍できる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会の益々のご発展と、皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことをお祈りしまして、新年のあいさつといたします。



厚生労働省茨城労働局長

澤口 浩司

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から茨城労働局の業務運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、高年齢者の就業促進に向けた事業にお取り組みいただき、心より感謝申し上げます。

さて、人生100年時代を迎え、職業人生の長期化や働き方の多様化が進む中、働く人のライフスタイルに応じたキャリアの選択を可能とし、誰もが能力を発揮して働ける環境を整備するとともに、人材の確保・育成や、労働生産性の向上などが重要な課題となっております。

シルバー人材センター事業は、高年齢者の地域の日常生活に密着した多様な就業機会を提供し、さらには人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野での就業機会の開拓・マッチング等を推進するため、今後、益々重要な役割を担われるものと確信しております。

茨城労働局といたしましても、シルバー人材センターの皆様と連携し、高年齢者の活躍の場を広げていく所存でございますので、今後とも変わらぬお力添えをいただけますようよろしくをお願いいたします。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

特集 シルバー人材センターのデジタル化の取り組みについて



社会のいたるところで「デジタル化」が進んでいます。シルバー人材センターでも、会員への連絡や配分金明細書の送付など、業務の中でデジタル技術を取り入れて効率化を図っているところが増えていきます。その一方で、「デジタル」ってどうも苦手で、使うのをためらってしまつという声も聞かれます。そこで、会員の皆様にも馴染みのあるお手持ちのスマートフォンなどで、まず最初の一步から始めてみてはいかがでしょうか。



令和6年11月1日から「フリーランス法（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）」が施行されました。フリーランス法により、請負・委任の形態で就業するシルバー会員の皆さんは、形式的には個人事業者（フリーランス）となり、シルバー人材セン



ターには請負・委任で就業する会員に対して、就業条件を明示することが必要となりました。

このため、書面交付（文書

の手渡し、郵送等）による明示も可能ですが、スマートフォンやパソコン等で会員の皆さんに明示することができれば、効率的で事務負担も小さくなるものと思われれます。

今回の特集ページでは、会員の皆さんにスマートフォンやパソコンで、シルバー人材センターから発信する情報を見ることが出来る「smile to smile（スマイル トゥ スマイル）」や「会員クラウドサービス」と言ったサービスの使い方を広げようとしている、銚田市シルバー人材センターと龍ヶ崎市シルバー人材センターの取組みを紹介いたします。



また、「smile to smile（スマイル トゥ スマイル）」や「会員クラウドサービス」のごく初歩的な使い方についても、NRI社会情報システム株式会社様、株式会社MONO Vision 様のご協力のもと、紹介いたします。

デジタル化の進め方は、シルバー人材センターによってそれぞれ異なっておりますので、すべての会員さんが使えるようになるにはまだ時間がかかると思いますが、デジタルを便利に使える状況が広がればと思います。



「smile to smile」 「会員クラウドサービス」とは？

県内のシルバー人材センターでもsmile to smile・会員クラウドサービスを使えるところが徐々に増えてきています。これらのサービスを使って、センターからの「お知らせ・配分金明細書」が手軽にスマートフォンやパソコンから閲覧できるようになります。

- たとえば配分金明細書を閲覧するときは、まず最初に「ログインID」または「会員番号」と「パスワード」を入力しログインボタンを押してスタートします。



Smile to Smile

①「ログインID」と「パスワード」を入力してログイン

②「配分金の確認」のボタンを押す

日数	単位数	数量	配分金	追加配分金
3	1,500円	2回	3,000円	0円

③「配分金明細」の確認

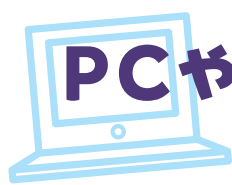
会員クラウドサービス

①「会員番号」と「パスワード」を入力してログイン

②「配分金明細書」のボタンを押す

支払年月	支払額	詳細
2022/02	86,550円	

③「配分金支払状況」の確認



PCやスマホの悩みを解決する

デジタル相談窓口を開設



銚田市シルバー人材センターの取り組み

現在、マイナンバーカードなど行政サービスのデジタル化も進み、デジタルへの対応は社会生活を送るうえで重要なスキルのひとつとなっています。

急速に進む社会のデジタル化は、利便性の高い快適な生活を私たちに提供してくれています。しかし一方で、デジタル化の波に乗れない方が多くいらっしゃることも事実です。そこで銚田市シルバー人材センターが取り組んでいるのが、パソコンからスマートフォンまで、デジタル使用の悩みを解決するためのワンストップ・サービスです。

これまでも、パソコンの使い方に関する講座や講習会を開催してきましたが、個別に指導できる態勢を整えました。その一つは会員様が使用できるパソコンの導入です。現在は2台のパソコン

を施設内に設置し、自由に使えるだけでなく自分の知りたい操作を教えてもらうことができます。指導員は以前ホームページ制作会社に勤務していた職員。メールアドレスの取得はもちろん、エクセルやワードの使い方もレクチャーしています。

スマートフォンの使い方に関しては、各メーカーの代理店に行くとき長い時間待たされることも多々ありますが、センターを訪れていただければ、必要な操作をすぐに知ることができます。また、顔見知りの職員が丁寧にレクチャーしてくれるので、気兼ねなく質問できるところも気軽に立ち寄れる要因となっています。



藤木さとみさん

「シルバー人材センターに来ている仕事の情報なども検索できるようになるといいですね。」藤木さとみさん（75歳）は、長年、新聞などのライターを務めていたこともあり、パソコンの使い方に精通しています。「会員のお友達からパソコンの使い方を聞かれることもあります。センターの事務所にデジタル相談窓口を開設していただいたので、より多くの方がデジタルと親しめるようになるのではないのでしょうか。」現在はまだ、仕事の検索システムは実装されていませんが、会員の皆さんのデジタル環境が整えば、システムを稼働することも可能です。

「就業条件明示書や配分金支払明細書についてもシステムは準備ができていますので、会員の皆さんのデジタル環境が整い次第稼働したいと思います。デジタルに関するお悩みを抱えているご高齢の方は少なくないので、いずれはデジタル相談窓口が新しい会員を獲得するためのきっかけにもなるのではないかと考えています。まずは会員の方々の口コミでデジタル相談窓口の存在を広めていただくとありがたいですね。」デジタル関係の指導員も務める職員の城田美紀子さんは、今後の展開を話してくれました。

デジタル化は利便性が向上するだけでなく、紙などにかかるコストを削減する効果もあります。持続可能な地球環境を維持するための国際的な目標、SDGsの観点からも、より一層、デジタル化の整備は重要になると考えています。



龍ヶ崎市シルバー人材センターの取り組み

令和5年4月から利用し始めて、現在は主に毎月の配分金明細機能及び事務局からのお知らせ機能を利用していますが、会員及び事務局の双方にとって、便利なシステムだと感じています。

しかし、現時点では龍ヶ崎市シルバー人材センターの導入率は30%弱となっており、令和6年8月末に実施したアンケートで、約7割の会員がスマートフォンを持っているという回答結果が出たことを踏まえると、まだまだ伸び代があると思えました。

導入しない理由を会員に聞いてみたところ「そもそもスマートフォンの操作方法が分からない」や「通話手段とでしか利用

していないので、必要ない」といった意見が多かった印象です。スマホ講座が開催されたら参加してみたいという会員が多数いるため、その意見を取り入れ講座を開催し、日常的にスマホを利用する環境づくりを進めていきたいと思えます。

今後も会報に記事として掲載したり、イベントの通知郵送時にチラシを同封して周知を続けていくと同時に、導入率が上がるような取り組みを検討していきます。



メリット

- ① 経費の削減に繋がる（配分金明細書や会員向けの通知時の紙・印刷・郵送代等）
- ② 事務量の削減に繋がる（データをアップロードするだけなので、配分金明細書や事務局からのお知らせも3分程で全会員へ一括して行うことができる）

龍ヶ崎市SC 会員の声

小泉会員

毎月、紙で受け取っていた配分金明細書で配分金額を確認していましたが、システム導入後はスマートフォンでいつでもチェックできるため、重宝しています。発注者ごとの配分金額や作業日数などの他、事務局からのお知らせもスマホで確認することが出来るため、とても良いシステムだと思います。



藤田会員

初めて利用しましたが、配分金明細をスマートフォンで確認できるというのは便利だと感じたので、今後活用していきたいと思えます。

センター訪問

人と人をつなぐ憩いの場 「喫茶ひととき」を運営

公益社団法人 東海村シルバー人材センター

- 住所 〒319-1112 那珂郡東海村村松2083
- TEL 029-282-3446 FAX 029-283-4522
- E-mail toukai@sjc.ne.jp
- 業務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 最寄駅 JR常磐線東海村駅より車で約5分



東海村は日本で初めて原子力の灯がともった村として有名で、多くの原子力関係施設が集積しています。その施設で働くため、全国から多くの人たちが集まる地域となっています。

現在、東海村シルバー人材センターの会員数は237人。男性が146人で女性が91人（令6年9月30日現在）です。



主な受託内容は植木の剪定や除草などですが、女性会員を集めるため令和4年から独自事業を始めました。それが喫茶室の運営です。



飲食店での仕事は女性に人気ですが、店舗への派遣は繁忙期に期間が限られたり、会員によって仕事にばらつきがでます。そこで東海村と交渉し村が所有する公共施設「産業・情報プラザアイビル」の一角を借り、独自事業として「喫茶ひととき」を開店することができました。

喫茶ひとときが開店したのは、令和4年4月。当初は5人でのスタートでした。「令和3年に入会し、喫茶ひとときの立ち上げに参加しました。」加藤木美登利さん（67歳）は、銀行で働いていたしっかり者です。「お客様の名前やご注文いただいた



左・佐藤さん／右・加藤木さん

名前やご注文いただいた

たドリンクなどをいつもメモしているので、几帳面だと思われるのかもしれませんが。でも本当は忘れっぽいだけなんです（笑）。」加藤木さんは、お客様へのサービス向上のため様々なデータをとっています。「お客様と接して得られた情報を運営メンバーで共有すれば、サービスの向上に繋がるのではないのでしょうか。」加藤木さんはメンバーとの情報共有も行っています。同じく立ち上げメンバーの佐藤いさ子さん（71歳）は「以前、一緒に仕事をしていた方がふらりと立ち寄ってくれることもあります。もちろん、私がここで働いていることは知らなかったと思いますが、人の縁は不思議ですね。」人とつながることで人生の面白さを感じると佐藤さんは言います。



現在は9人でローテーションを組んでいます。仕事がある日は生活のアクセントにもなります。佐藤さんは「今日は仕事だと思えば、自然にスイッチが入ります。大変な時もありますが、それより楽しみのほうが多いと感じています。」加藤木さんは「一度、シルバー人材センターに足を運んでみてはいかがでしょうか。一人で家にも何も変化はありません。シルバー人材センターに行ってみれば、自分に合った仕事が見つかり世界が広がるかもしれませんよ。」と、社会に出て人とふれあう大切さを話してくれました。



多くの女性会員が活躍する 「瓶詰食品製造事業」と「花苗栽培事業」

公益社団法人 石岡地方広域シルバー人材センター

- 住所 〒315-0042 石岡市茨城3丁目8番14号
- TEL 0299-23-3399 FAX 0299-22-3399
- E-mail ishioka@sjc.ne.jp
- 業務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 最寄駅 JR常磐線石岡駅より車で約5分



石岡市は、奈良時代に成立した常陸の国の国府が置かれた歴史ある都市です。現在も毎年9月に関東三大祭りとして有名な「常陸國總社宮例大祭」が開催され、賑わいを博しています。



石岡地方広域シルバー人材センターは、石岡市と小美玉市の2市を包括する広域センター。会員数は男性548名、女性273名、合計821名（令和5年度現在）です。植木剪定や除草などの請負事業や幼稚園・保育所園児送迎業務などの派遣事業を行っていますが、特に注目されているのが、多くの女性会員が活躍する「瓶詰食品製造事業」と「花苗栽培事業」です。

瓶詰食品とは、いちごやブルーベリー、ゆずなど地元で収穫される果物を使ったジャムやマーマレードのこと。平成12年度（2000年）より茨城県農業改良普及センターの指導を受け、製造を開始しました。

現在では、とうがらしみそやゆず辛子味噌の瓶詰食品も加わり、多くの方からご好評をいただいています。出荷先は主にJAが運営する農産品直売所など。また、定期的に販売していただいているのは、ひたちなか市シルバーセンターが運営す



る「シルバーふれあいショップ」や鹿嶋市シルバー人材センターが運営する「ひまわり本舗（いきいきサロンひまわり）」などです。近年はシルバー人材センターが開催する総会の記念品としても利用され、販路を大きく拡大しています。

もう一つ注目したいのが「花苗栽培事業」です。この事業は平成10年度（1998年度）にスタートし、今年度で26年目。農業に詳しい会員の方もいらっしゃいますが、安定した栽培は非常に困難でした。しかし、現在はビニールハウス8棟にまで拡大しています。6月にはマリーゴールド、サルビア、ニチニチソウなど。11月にはパンジー、ビオラ、ハボタンなどが美しい姿を見せています。

発注していただくのは、主に行政関係です。道路沿いに設置された沿道花壇などに植えられ、地域の人々の目を楽しませています。近年は夏の猛暑が続き花卉の栽培は難しくなっています。しかし、毎年工夫を重ねることで、需要にお応えできるよう努力しています。

もちろん、一般の方への販売も行っています。JAが運営する農産物直売所に置かせていただいているほか、ビニールハウスの脇で直売も行っています。ぜひ一度、お立ち寄りください。



就業活動レポート

技術力が必要な剪定依頼に対応する本格的な植木職人を育成。

(植木職人育成事業)

公益社団法人 取手市シルバー人材センター

シルバー人材センターに依頼の多い業務のひとつとして庭木の剪定が挙げられます。しかし、剪定を行うには技術力が必要で、誰もがすぐにできる仕事ではありません。そこで取手市シルバー人材センターでは剪定に関する確かな知識と技術を持った会員を育成するため、育成班を編成し、後継者育成のための実習を行っています。その指導員を務めるのが、大塚藤男さん(91歳)です。

大塚さんは18歳の頃から盆栽を始め、親戚の庭師のもとで修業を積んだ植木職人。取手市シルバー人材センターには平成11年に入会し、すでに70年以上のキャリアを持つ達人です。令和2年度から指導員を務めるようになり、平均して週に2回、

実習を行っています。現在の生徒数は8名。中には経験者もありますが、そのほとんどが初心者です。「指導するうえで最も気を使っているのが安全面です。梯子をかけて高所で行う作業もあるので、剪定は多くのリスクを伴う作業なんです。梯子の掛け方から落下を防ぐベルトの装着など、まずは危険を回避する指導から入ります。」朝礼では「ヒヤリハット」が無いよう、厳しく指導しているとのこと。

しかし、実習を行う場所は限られています。依頼のあった一般のご家庭で実習することは出来ないの、やはり公共施設や公園で行う必要があります。「一般的な庭木の剪定は難しくありませんが松はそうはいきません。素人が切ると仕上がりが大変なことになる。松の剪定を覚えるには何回

も現場を経験する必要があります。基本をしっかりと覚えてもらうために、時には厳しい指導も行わなくてはなりません。」取手市役所に植えられた“木斛(もっこく)”の木の剪定も大塚さんによる仕事です。「木斛は向こうが透けて見えるように剪定すると、春に豊かに茂ってくれる。植物は剪定の仕方によって根を張り新芽を伸ばすための英気を蓄えるんです。」現在、市役所前の木斛の木は、大塚さんが専属で剪定しています。

「仕事のやりがいは、指導した会員さんが独り立ちして多くの現場で活躍することです。お客様から高く評価していただけると、私も嬉しくなりますね(笑)。」大塚さんは、まるで自分のことのように明るく話してくれました。

庭木の剪定は景観を美しくするだけでなく、植木職人の健康を維持するのに効果的な仕事だと大塚さんは言います。「枝を切るときに微量ですがマイナスイオンが発生すると聞きました。本当か嘘は分かりませんが、太陽の光を浴びて風を受けることは精神的にも休まる時間だと思います。私は剪定に出かけるとき、ジムに通っているような気分になるんです。身体を動かし樹々と対話する時間は、何物にも代えられません。」91歳を迎えた大塚さんの笑顔に、若さを保つ秘訣を見ることができました。



大塚 藤男さん



子どもたちの笑顔を想い 安全運転で学校給食を配送。

(学校給食配送事業)

公益社団法人 坂東市シルバー人材センター



坂東市シルバー人材センターでは派遣事業として「学校給食配送事業」を行っています。市町村合併により岩井市と猿島町が合併して今年（2024年）で20年目。その頃から、この学校給食の配送を行っています。

猿島地区と岩井地区の2カ所で配送を行っており、猿島地区では2台のトラックで会員は4人体制。そして、ここ岩井地区ではトラック4台で8人体制で実施しています。

仕事内容は学校給食センターから市内の小中学校に給食を運ぶこと。9校の小学校と3校の中学校に、月曜日から金曜日まで雨の日も風の日も、子どもたちに給食を届けています。



小林 典夫さん

小林 典夫さん（72歳）は、この仕事に就いて10年になります。「定年退職してしばらくはゆっくりしていたんですが、自分にも何か出来ることはないかと思いシルバー人材センターの会員になりました。」2週間働いて1週間休み。身体への負担は少ないと言います。

「給食を届けに行くと、子供たちが手を振ってくれることもあるんです。それを見ると、やはり嬉しいですね。自分が社会貢献をしていることを実感します。」

小林 典夫さん



「やはりトラックを運転する仕事なので、安全運転が第一です。その為には自分の健康維持が欠かせません。」坂東市シルバー人材センターがこの事業を始めてから大きな事故はありません。会員の方の意識の高さが伺えます。

また、小林さんは入会して個人的にも楽しみが増えたと言います。「仲間たちと雑談する時間は心が休まるひと時です。また、私は家庭菜園をしているのですが農業に詳しい会員がいて、種蒔きの時期や栽培方法なども教えてもらっています。」趣味に関する情報交換なども、実益を兼ねた特典となっているようです。

学校給食配送事業を実施するに当たり、基本的に大型トラックドライバー経験者や2種免許の取得者を優先的に斡旋しています。ただ課題としては、やはり高齢化です。学校給食配送事業は運転はもちろん、1台のトラックにコンテナを6台乗せて運ぶという体力も必要になる作業。かなり重量のあるコンテナを扱うには危険も伴います。事業継続のためにも、60代の会員確保が急務だと考えています。



コンテナ積み込み

社会に出て仕事をすることは私の元気の秘訣です！

公益社団法人 ひたちなか市シルバー人材センター

小坂 みつえさん (71歳)



入会したきっかけを教えてください。

家業が大工でその仕事を手伝っていたのですが、仕事がひと段落して家にいる時間が多くなりました。家にはお姑さんもいて、特にやることもなかったのので、誰かのお役に立てるならと入会することにしました。

どのような仕事をしているのですか？

家で作った野菜を、ひたちなか市シルバー人材センターが運営する「シルバーふれあいショップ」に出品しています。生産している野菜は春にはキャベツや小松菜、夏にはナスやトマトなどです。季節によって様々な種類の野菜を育てていますが、自分が作った野菜を美味しいと言ってもらえると本当に嬉しいです。生き物相手なので大変なこともあります。喜んでいただけると苦労も吹き飛びます。いま自家用にそばを育てていますが、今度、そば粉を出品しようかと考えています。

他にはどんな仕事をしていますか？

学童保育で、子どもたちを見守るお仕事をさせていただきました。昨年の夏休みと今年の春休みに行ったのですが、子どもたちは本当にかわいいですね。小学1年生から6年生までの子供たちなので、まるで本当の孫のような感じです。多い時で1クラス30人程度をお預かりするので責任もありますが、それより子供たちとふれあっていると自分も若返るような気がします(笑)。

読者にメッセージをお願いします。

シルバー人材センターでの仕事は、私にとって元気の秘訣です。仕事のある日は、家のことを忘れて人とふれあうことができる。新しい友だちも増えて、毎日が楽しくなりました。家に閉じこもっていても、なにも変化は起きません。働く意欲がある方は、説明会を聞きに来てみてはいかがでしょうか。自分の世界が広がりますよ！

人とのコミュニケーションを通して充実した毎日を楽しんでいます。

公益社団法人 筑西市シルバー人材センター

山口 秀夫さん (72歳)



入会したきっかけを教えてください。

何か人の役に立つことをしたいと思ったのが、会員になったきっかけです。最初はハローワークに相談に行ったんです。そこで働き甲斐のある仕事はないか探していると、職員の方が「だったらシルバー人材センターが良いんじゃないか」と勧めてくれました。シルバー人材センターならいろいろな仕事があるので、自分に合った仕事が見つかるんじゃないかって。

現在の仕事内容を教えてください。

筑西市シルバー人材センターの事務所がある「ワークプラザ」の施設管理を行っています。主な仕事内容は、開館の準備や閉館後の施錠。また、ご利用されるお客様の会計も行います。お金をお預かりすることもあるので、責任の重い仕事です。ただ前職は銀行員をしていたので、ある意味、慣れている部分もありますね。

仕事のやりがいはどこに感じますか？

「地球の保健室」というNPO団体が、定期的に子どもたちを集めて勉強会などを行っています。そこで先生方や生徒たちと仲良くなり、話をしていると楽しいですね。中学生の子供たちから、高校受験に成功したと報告を聞くと、自分の孫のことにように嬉しくなります。「いつまでもやめないでね」と言われると、まだまだ頑張らなくてはと元気がでます。

読者にメッセージをお願いします。

子どもたちと学校での出来事などたわいもない雑談をしていると、新鮮な気持ちになります。人とのコミュニケーションの大切さを実感しますね。仕事を休まないように、体調管理に気を付けるようになりました。仕事は認知症の予防にも良いと聞きます。皆さんもシルバー人材センターで自分に合った仕事を見つけてください。

豊富な経験・知識・技能を地域や社会のために！

わくわくシルバーフェスティバル

普及啓発促進月間



県内のシルバー人材センターでは、10・11月の普及啓発促進月間に各地域のイベントに参加して、活動内容の紹介や、会員の作品・地元特産品の販売等を行いました。今年は多くのイベントが開催され、シルバー人材センターを多くの方々に知ってもらうことができました。

水戸市
SC
(10/1)



JR水戸駅前
ペディストリアンデッキ



JR土浦駅前
ペディストリアンデッキ



ウェットティッシュ、
チラシ、販促用ボール
ペン

土浦市
SC
(10/1)



チラシ、事業概要案内パ
ンフレット、ウェット
ティッシュ



チラシ・ウェットティッ
シュ・お菓子



ほこたオータム
フェスティバル

鉾田市
SC
(10/13,14)

城里町
SC
(10/26,27)



チラシ、ウェット
ティッシュ



しろさと町民祭り



第32回
常総ふるさとまつり



チラシ、ウェット
ティッシュ

常総市
SC
(11/4)

安全就業推進について

◆令和6年度 安全就業推進大会開催

令和6年7月3日（水）、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館コミュニティホールにおいて、令和6年度安全就業推進大会を、シルバー人材センター会員、役・職員ら計186名が出席し開催いたしました。

今大会により、就業中の事故が、意識・仕組・道具の面から一体となって機能することで軽減され、安全・安心なシルバー事業の展開につながることを期待いたします。



開会宣言 塚本安全就業対策推進委員長



あいさつ 加倉井連合会会長



表彰 優秀賞
城里町シルバー人材センター 富永副理事長



表彰 優良賞
東海村シルバー人材センター 河野理事長



安全就業対策推進委員会 功労者感謝状贈呈
内野 修 鹿嶋市SC常務理事兼事務局長



安全就業対策推進委員会 功労者感謝状贈呈
太田 光幸 石岡地方広域SC常務理事兼事務局長

◆安全パトロールの実施

会員の皆様が健康で安全第一で就業できるよう意識を高めてもらうために、『安全パトロール』を実施しました。

日時	実施センター
令和6年10月10日(木)10:00から	大子町シルバー人材センター/常陸大宮市シルバー人材センター
令和6年10月31日(木)10:00から	筑西市シルバー人材センター/下妻地方広域シルバー人材センター
令和6年11月8日(金)10:00から	利根町シルバー人材センター/河内町シルバー人材センター
令和6年11月15日(金)10:00から	鉾田市シルバー人材センター/石岡地方広域シルバー人材センター



綿抜会長 退任のあいさつ

平成24年12月に連合会会長に就任して以来、昨年6月の定時総会まで、11年余にわたり、副会長はじめ理事の皆さん、また各シルバー人材センターの理事長さん、さらには事務局長以下職員の皆さんにご支援を頂きながら、十分に活動できたのではないかと、まずは感謝申し上げます。

これからますます高齢社会が進む中で、高齢者が就業を通して活躍し、地域社会に貢献できる機会を提供するシルバー人材センターの役割は、大変大きなものと言えるでしょう。しかしながら、高齢者の就業の選択肢が広がり、60歳を超えても従来の勤め先で働き続ける方が増えていることなどにより、シルバー人材センターにおいては会員数の減少や会員の高齢化など、厳しい状況が続いています。

このため、会員拡大は重要な課題ととらえ、特に活躍への期待が大きい女性会員の拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。また、安全就業は最優先事項であり、その徹底にも力を注いでまいりました。

さらには、インボイス制度やフリーランス法、契約方法の見直しなど、多くの課題につきましても引き続き取り組んでいく必要があります。

今後は、加倉井会長のもと、関係の方々が力を合わせるにより、シルバー人材センターがより一層地域に根差した組織として発展することを確信しております。

私も、顧問という形で残らせて頂きますので、様々な課題について皆さんとお話しできるのではないかと思います。

本当に長い間お世話になりました。

令和6年度 新規シルバー会員向けセミナーを開催

令和6年10月15日（火）に連合会では、土浦市シルバー人材センターと共催で、新規シルバー会員向けセミナー「人生100年時代を健康に美しく生きる」をテーマに、ホテルマロウド筑波で開催いたしました。

シルバー人材センターのガイダンスや女優の由美かおるさんを講師にお招きし「心と体の健康『若々しさ・美しさを保つ秘訣』」について講演を行いました。

土浦市をはじめ、阿見町・石岡市・牛久市・小美玉市・かすみがうら市・つくば市・美浦村・龍ヶ崎市・取手市など近隣市町村から多くのシルバー関係者やシルバーに興味をもたれた一般の皆さんなど195人の参加をいただき新規会員の拡大につながりました。



土浦市SC会員による体験談発表



由美かおるさんによる講演

(本事業は茨城労働局委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用いたしました。)



これまでの知識や経験を活かせる場所で これからの明日をシルバーと一緒に描いてみませんか?

仕事募集

お気軽にお仕事を
ご依頼ください!

原則として、お仕事を依頼したい市町村のシルバー人材センターに、お申込みいただきます。公益な団体ですので、収益を目的にしていません。安心して仕事をお任せいただけます。

シルバー人材センター	電話番号	シルバー人材センター	電話番号
水戸市シルバー人材センター	TEL 029-303-7272	那珂市シルバー人材センター	TEL 029-295-5741
日立市シルバー人材センター	TEL 0294-33-5586	筑西市シルバー人材センター	TEL 0296-25-4181
土浦市シルバー人材センター	TEL 029-824-8281	坂東市シルバー人材センター	TEL 0297-35-6405
古河市シルバー人材センター	TEL 0280-92-7018	稲敷市シルバー人材センター	TEL 029-892-3323
石岡地方広域シルバー人材センター	TEL 0299-23-3399	かすみがうら市シルバー人材センター	TEL 029-898-3130
結城市シルバー人材センター	TEL 0296-33-0222	桜川市シルバー人材センター	TEL 0296-54-6698
龍ヶ崎市シルバー人材センター	TEL 0297-64-3641	神栖市シルバー人材センター	TEL 0299-92-7583
下妻地方広域シルバー人材センター	TEL 0296-44-3198	行方市シルバー人材センター	TEL 0299-80-6818
常総市シルバー人材センター	TEL 0297-38-5808	鉾田市シルバー人材センター	TEL 0291-32-4448
常陸太田市シルバー人材センター	TEL 0294-72-7700	つくばみらい市シルバー人材センター	TEL 0297-25-2102
高萩市シルバー人材センター	TEL 0293-23-7911	茨城町シルバー人材センター	TEL 029-292-8627
北茨城市シルバー人材センター	TEL 0293-42-3262	大洗町シルバー人材センター	TEL 029-264-8828
笠間市シルバー人材センター	TEL 0296-73-0373	東海村シルバー人材センター	TEL 029-282-3446
取手市シルバー人材センター	TEL 0297-72-9288	美浦村シルバー人材センター	TEL 029-886-0007
牛久市シルバー人材センター	TEL 029-871-1468	阿見町シルバー人材センター	TEL 029-888-2036
つくば市シルバー人材センター	TEL 029-879-5199	五霞町シルバー人材センター	TEL 0280-84-0208
ひたちなか市シルバー人材センター	TEL 029-273-4727	境町シルバー人材センター	TEL 0280-86-5415
鹿嶋市シルバー人材センター	TEL 0299-83-5577	利根町シルバー人材センター	TEL 0297-68-7896
潮来市シルバー人材センター	TEL 0299-63-1213	城里町シルバー人材センター	TEL 029-288-7013
守谷市シルバー人材センター	TEL 0297-48-8591	大子町シルバー人材センター	TEL 0295-79-1222
常陸大宮市シルバー人材センター	TEL 0295-53-5885	河内町シルバー人材センター	TEL 0297-84-5455

第15回チャリティゴルフ大会開催 協賛金は「愛の募金」へ

令和6年10月30日(水)、県シ連主催の第15回チャリティゴルフ大会が水戸レイクスC.C.(城里町)において開催されました。

前日から続く雨が心配されましたが、スタート直後には雨も落ち着き、雲の合間から光が差し込む中、県内各地のシルバー人材センターから集まった20名の腕自慢が、日頃鍛えた技を競い合いました。



当日のチャリティ募金等の2万5千円は、令和6年11月5日(火)、加倉井県シ連会長から(公財)茨城新聞文化福祉事業団『愛の募金』へ寄付しました。ご協力ありがとうございました。

会報「県シ連だより」編集会議メンバー

座長 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会
 編集委員 (公社)石岡地方広域シルバー人材センター
 編集委員 (公社)桜川市シルバー人材センター
 編集委員 (公社)潮来市シルバー人材センター
 編集委員 大子町シルバー人材センター
 編集委員 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会

総務課長 永井 辰也
 業務係長 森 昌幸
 事務局次長 仁保 直樹
 事務局長 岸根 則夫
 事務局長 芳賀 直幸
 主 事 栗原 秀子

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918
 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階

TEL:029-244-4622 FAX:029-244-4633
 ホームページ <http://www.ibaraki-silver.jp>
 E-mail ibarakirengo@sjc.ne.jp